



子どもの運動と知覚に関する研究

保健福祉学部 理学療法学科

講師 島谷 康司 (しまたにこうじ)

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 4429 号室
Tel : 0848-60-1183 Fax : 0848-60-1183
E-mail : shimatani@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野 : 理学療法学 小児理学療法

キーワード : i) 新生児・乳児 脳性麻痺 自発運動
ii) 幼児 AD/HD アスペルガー-症候群 body image

●研究内容

(1) 新生児・脳性麻痺児等の自発運動の経時的変化の検証

★平成 22 年科学研究費補助金 (基盤 (C)) 助成研究 (分担)
共同研究 ; 辻敏夫 (広島大学教授), Pietro Morasso (Genova 大学教授), 松岡病院 (福山市), Gaslini Child Hospital (Italy Genova)

(2) AD/HD やアスペルガー-症候群と診断されている発達障害児の body image に関する研究

★平成 22 年科学研究費補助金 (若手研究 (B)) (研究代表)

(1) について

健常あるいは脳性障害を呈する新生児・乳児の自発運動について、画像解析機器等による運動評価を行っている。運動や行動学的評価を経時的に解析し、脳性麻痺児の運動・知覚の発達の特徴について、また、運動と知覚の相互関係について検証を行っている。



被検児とカメラまでの
直上距離 120~130cm

被検児とカメラまでの
水平距離 80~90cm

図 実験場面

(2) について

就学前の健常児や発達障害児 (HD/HD, アスペルガー-症候群) の body image の形成・更新について、基本的運動能力や重心動揺との関係を踏まえて、動作解析機器や実験心理学の手法を用いて検証を行っている。



図1 日常生活における幼児のくぐり動作の例

左図のように、発達障害児は日常生活において鉄棒や机などの障害物に接触することが多いことから、発達障害児の知覚・運動能力を健常児と比較検証した。

★平成 19 年~20 年度科学研究費補助金 (若手研究 (スタートアップ)) 助成研究

また、発達障害の診断はされていないが、保健師や保育士が運動発達の遅れがあるのではないかと考えている子どもの運動の未熟さの評価や運動指導方法についても検証を行っている。

★平成 19~20 年度県立広島大学重点研究「地域課題解決研究」の助成研究 (提案者 : 社会福祉法人 櫻学園 さくら保育園 櫻 啓子)

●期待される成果と応用

小児理学療法の臨床的観点から、リハビリテーションを必要とする子どもの個々の問題点を詳細に抽出し、多様な視点からアプローチすることが期待できる。

●想定される連携先

- 病院等の医療施設
- 幼稚園・保育園等の教育機関
- 保健所や福祉施設
- その他 (NPO 法人)